

2016.

7.30 (土) & 31 (日)

両日とも 14:00 開場 / 14:30 開演

宝塚ソリオホール

(阪急・JR宝塚駅下車 徒歩3分
「ソリオ1」の3階)

7/30
土

[ゲスト] 伊東はじめ

奥田佳子、海江田文、
須山公美子、玉田さかえ、
星奈佐和子、森本理子、
ヤスコ Wild、立ともみ (50音順)

名島将浩

(第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門 宝塚シャンソン化計画賞受賞)

7/31
日

[ゲスト] 出口美保

市原民子、シモーヌ深雪、
須山公美子、千城恵、
藤井レイ子、村山奈緒美、
RIO (50音順)

浅野美智子

(第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門 最優秀賞受賞)

音楽監督&ピアノ：吉田幸生

舞台美術：長野訓子、[映像] コジケン

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

宝塚パリー祭

「世界はいつも恋してる！」

日本でいちばんシャンソンの似合うまち—宝塚でのパリー祭コンサート

第10回

[入場料] 各日前売 2,500円・当日 3,000円 (全席自由) *宝塚市文化財団友の会会員は 2,000円

チケット 5月13日(金)より発売 *宝塚市文化財団友の会会員は、5月6日(金)より先行予約できます。

ローソンチケット(Lコード:54413)、セブンイレブン(店頭マルチコピー機にて販売)、

ソリオホール、ベガ・ホール、宝塚文化創造館窓口にて販売 *文化財団ウェブサイトからも購入できます。宝塚クリップで検索

[お問い合わせ] (公財)宝塚市文化財団 tel:0797-85-8844 URL:<http://www.takarazuka-c.jp>

主催:(公財)宝塚市文化財団、宝塚シャンソン化計画 / 後援:NPO法人関西シャンソン協会、宝塚市、宝塚市教育委員会、FM宝塚



2016年
第10回

宝塚パリア祭

[1日目] 7月30日(土) / [2日目] 7月31日(日)

日本のシャンソンは、宝塚少女歌劇のレビュー『モン・パリ』から始まったと言われています。そんな素敵な縁(えにし)から生まれた宝塚パリア祭も、今年で10回目の節目を迎えました。今年のテーマは、「世界はいつも恋してる!」。ただひとつしかない、大事な地球、大事なひとりひとりの命と未来。そのひとつひとつを愛おしんでいきたい、その想いを「恋」ということばに託し、さまざまな恋のすがたを歌で描き出します。10回目にふさわしいゲストの方々もお迎えしました。「日本でいちばんシャンソンの似合うまち・宝塚」で、シャンソンにどっぷり浸る至福の2日間をお楽しみください。

第10回記念スペシャルゲスト



伊東はじめ
(30日ゲスト)

いとうはじめ ●鹿児島県出身。東邦音大在学中より深緑夏代氏に師事、宝塚音楽学校で指導補佐を務める。東京パリア祭は日比谷音時代より連続出演。ミュージカル、ラジオのパーソナリティ等活躍は多岐に亘る。ジャック・ブレレルの作品の研究により、ベルギー政府観光局主催のコンサートを国内外で開催。NHK-BSのブレレル特集にも出演。主宰する『ステュディオ モン・マルシェ』を中心に後進の指導にあたっている。今年でデビュー50年を迎える。



出口美保
(31日ゲスト)

でぐちひろこ ●1965年より菅美沙緒氏に師事し、2年後、NHKオーディションに合格。1968年9月、ピクチャーレコードより「ザ・ラストワルツ」でデビュー。1970年、結婚・出産により活動を一時休止。8年後、大阪で開かれた「パリア祭」出演を契機に歌手活動再開。1979年、シャンソン・ライブハウス「シャンソニエ ジルベール・ベコー」を開業。その後、リサイタル、シャンソン教室で講師を務めるなど、シャンソンに関わる幅広いフィールドで活躍している。

出演歌手 (50音順)



市原民子

(31日) いちはらたみこ ●関西学院大学卒業後、ミュージカル養成所へ。約10年の役者活動を経て、シャンソン=歌を通しての表現世界に魅せられる。2007年、シャンソニエ「ジルベール・ベコー」のオーディションを機にプロデビュー。現在、京阪神を中心としたライブハウスに出演中。「歌手は女優である」を座右の銘に、歌で人生を演じることを模索中である。



奥田佳子

(30日) おくだけいこ ●「生活の中にシャンソンを」をモットーに活躍。宝塚、川西、篠山、大津、豊中などでシャンソン教室を開き、多くの人達にシャンソンを楽しんでもらっている。コープこうべカルチャー宝塚シャンソン講座講師。また、様々なライブハウス、コンサートなどにも出演。良き仲間と共に、心豊かにシャンソンを楽しんでいきたいと日々活動中。



海江田文

(30日) かいえだふみ ●同志社大学卒業後、ドイツのキャバレー・ソングやクラフト・ワイルド、シャンソンに、理屈を超えた自分のルーツを感じ、歌い始める。関西を中心にステージ活動中。スタンダード・ナンバーから独特の選曲と自身の訳詞によるナンバーまで、詩情を追求しつつ取り組んでいる。2013年秋にマレーネ・ディートリッヒをテーマとしたCDアルバムを発表。



シモーヌ深雪

(31日) しもーぬぶかゆき ●86年デビュー。ゴージャス且つアバンギャルドなステージには定評があり、ロックテイストを加味した退廃系のシャンソンを得意とする。正統派を極めたレビューショー、その逆のエューヨークアンダーグラウンドスタイルのナンセンスでエキセントリックなフロアショー、そのどちらも国内外を問わず高い支持を得ている。



須山公美子

(30・31日) すやまくみこ ●関学在学中の80年ライブハウスデビュー。オリジナル、シャンソン、昭和歌謡などをアコーディオンで弾き語る独自のスタイルを確立、関西、首都圏と活動を広げる。89年ベコーオーディション合格以来、シャンソンのライブハウス、イベントに多数出演。市民音楽企画団体「宝塚シャンソン化計画」の立ち上げに参加。



玉田さかえ

(30日) たまださかえ ●神戸市出身。20歳の頃出会ったシャンソンに心動かされ独自の歌唱でコンサート活動を始める。85年ベコーオーディション合格、シャンソン歌手としてプロデビュー。各地のシャンソニエにレギュラー出演、ディナーショー、コンサート、リサイタル等、幅広く活躍。個性的な情緒溢れる歌唱は味わい深く、根強いファンが多い。



千城 恵

(31日) ちしろけい ●1972年宝塚歌劇団入団、雪組男役スターとして活躍。1986年退団後、東京を中心にミュージカルの舞台に立つとともに、老舗シャンソニエ「銀巴里」で本格的にシャンソンデビュー。1994年に姫路へ戻り音楽スタジオ開校。後進の指導にあたりながら、『HIMEJIパリア祭』『HIMEJIミュージカル』など、地元音楽文化の活性化に取り組んでいる。



藤井レイ子

(31日) ふじいれいこ ●85年ベコーオーディション合格後シャンソン歌手として活動開始。同年NHKオーディション合格。92年リサイタルホールにて初リサイタル。コンサート、イベント、関西のライブハウスレギュラー出演多数。03年より『藤井レイ子と仲間達のシャンソン』を企画出演。日本シャンソン協会正会員、シャンソン教室主宰。



星奈佐和子

(30日) ほしなざわひろこ ●宝塚歌劇団出身。在団中より深緑夏代氏に師事。退団後はシャンソンのステージ『大阪パリア祭』『サンケイパリア祭』他、多数出演。また、関西のシャンソンライブハウスにレギュラー出演多数。2008年CDアルバム『愛の旅立ち』を発売。新響楽器音楽教室シャンソン講師。



村山奈緒美

(31日) むらやまなみ ●風かおる氏に師事。第9回日本アマチュアシャンソンコンクールグランプリ。2002年朝日ホール、2012年新神戸オリエンタル劇場でソロコンサート。2010年『日仏交流 KAKEHASHI コンサート in Paris』に参加(同会運営委員)。2004年CD『アンシャンテ』。大阪「PIANO BAR Pocket」等レギュラー出演。NHK神戸文化センターほかシャンソン教室講師。



森本理子

(30日) もりもりこ ●大学在学中にドラマスを始め、ヤマハ8・8ロックデイ・レディース部門にてグランプリ受賞。その後ラジオで耳にしたシャンソン『暗い日曜日』に魅せられベカールを志す。ダークな幻想世界の構築を夢み、ライフワークとして朗読と歌のライブ『幻想博物館』を半年に一回のペースで開催している。CD『Larm Noir』他リリース。



ヤスコ Wild

(30日) やすこわいりこ ●シャンソン歌手・訳詩家・エッセイスト。NPO法人関西シャンソン協会理事、日本訳詩家協会関西支部長。大阪生まれ、関西外国語大学英米語学科卒。CD『詩と音楽』『三文オペラ』『天使の翼』制作。詩集『空の色』、エッセイ集『ケ・セラ・セラ』(ヴィレッジプレス出版社)、『KCAガラコンサート』『ヴィヴァ! シャンソン』『好色七人女』など主催。



RIO (如月伶生)

(31日) りお ●東京都港区在住。1994年関西でプロ歌手デビュー、2000年に拠点を東京に。有名シャンソニエにほほは連日、東京「オーチャードホール」等大ホールにも出演中。パトリシア・カースはじめ本場パリアの有名歌手との共演も多数。NHK・T・Vでライブ放映、パリア主催のイベント出演等、日本シャンソン界の枠にとどまらない幅広い活動を展開中。CDは「永遠のもの」他5枚発表。



立ともみ

(30日) りつともみ ●2007年宝塚歌劇団退団後、多数の舞台に出演。2011年奥の細道が題材の音楽劇『風雅の旅』で主演の芭蕉役を好演。2012年初ライブ、『エリザベト』ガラコンサートでマックス公爵を演じる。宝塚歌劇団で演技指導、宝塚音楽学校でポピュラー講師等、後輩の指導にあたる。

FM宝塚15周年・宝塚シャンソン化計画10周年記念企画

昨年のFM宝塚開局15周年・宝塚シャンソン化計画10周年の記念企画として、第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門最優秀賞受賞者と宝塚シャンソン化計画賞受賞者に、宝塚パリア祭に記念出演して頂きます。熱唱に応援よろしくお願ひします。



浅野美智子 (31日) あさのみちこ ●2005年よりシャンソンを山田直義氏、タンゴを上田裕司氏に師事。ウィーン・東京・大阪・神戸でイベント等に出演している。第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門最優秀賞受賞。



名島将浩 (30日) なじままさひろ ●鳥取県出身、42歳でゴスペルを始める。44歳で若林クニ氏に邂逅、衝撃を受けシャンソンを始める。第1回宝塚歌謡選手権一般部門優秀賞、第3回宝塚歌謡選手権シャンソン部門宝塚シャンソン化計画賞受賞。

音楽監督・ピアノ演奏



吉田幸生

よしだゆきお ●60年生。4歳からオルガンやエレクトーンに親しみ、高校時代よりピアノを弾き始める。阪大入学後は軽音楽部で活躍。自ら率いるポップスバンドで第25回ヤマハポップコン兵庫県大会優勝。86年ごろよりシャンソン歌手出口美保の誘いでシャンソンの仕事を始める。関西のみならず、首都圏、名古屋などで多くの歌手の信頼を得ている。

舞台美術



長野訓子

ながのくにこ ●不思議な形の植物を刺繍する刺繍家。銅版画家、テキスタイルデザイナーを経て家業の刺繍業を始める。刺繍作品による個展やグループ展活動、衣服やカバン、雑貨の製作、インテリア、企業のギフトグッズ製作、刺繍のワークショップや大学講師、イベント企画など、「刺繍でできること」を模索しながら幅広く活動中。



コジケン

【映像】こじけん ●モーションエンジニア。2007年よりテレビCM、プロモーションビデオ等のCG映像、アニメーション制作に携わる。最近の主な作品：読売テレビ「マヨなか笑人」オープニング&コーナーアニメーション制作。積水ハウス「クロニクルサイネージ」映像制作。